

『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』における片仮名読み表記要領

0. 読みの表現

『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』では、漢字データとその片仮名読み、ローマ字読みのデータを収録するときは、その関係を以下のとおり 880 フィールドとそれ以外のフィールドの組で表現する。

- 880 以外のフィールド（以下「正規フィールド」という）：
漢字データを収録する。
組となる片仮名読み、又はローマ字読みがあるときは、サブフィールド\$6 に組となるフィールド番号「880」とオカレンス番号を収録する。
- 880 フィールド：
片仮名読み、及びローマ字読みを、フィールドを繰り返して収録する。
第1インディケータ、第2インディケータとも、組となる正規フィールドと同値とする。
サブフィールド\$6 に、組となる正規フィールドのフィールド番号、オカレンス番号、及び当該 880 フィールドの文字種コードを収録する。
文字種コードは、片仮名読みの場合「\$1」、ローマ字読みの場合「(B)」とする。

詳細は『JAPAN/MARC MARC21 フォーマット』の仕様を参照のこと。

例) 245 フィールドの読みを収録する場合

```
245 00 $6 880-01 $a 山王遺跡 : $b 山王遺跡第1次調査区発掘調査報告書
880 00 $6 245-01/$1 $a サンノウ イセキ : $b サンノウ イセキ ダイ1ジ チョウサク
      ハックツ チョウサ ホウコクシヨ.
880 00 $6 245-01/(B $a Sanno iseki : $b Sanno iseki dai1ji chosaku hakkutsu
      chosa hokokusho.
```

以下、880 フィールドに収録する片仮名読みの表記について規定する。例示中の「△」は半角スペースを表す。

目次

1. 和語、漢語
2. 外来語
3. ラテン文字等
4. 数字
5. 記号

付・第1表（昭和21年内閣告示第33号による）

付・第2表

付・第3表

1. 和語、漢語

組となる正規フィールドが和語、漢語（漢字を使用する日本、中国、韓国・朝鮮の個人名、団体名、地名を含む）のみで表示されているときは、その発音に従い、第1表及び第2表に従って表記する。以下に主要な留意点を例示する。

ア) 旧かなづかい

旧かなづかいはその現代語音によって表記する。

てふてふ → チョウチョウ

どぜう → ドジョウ

としゑ → トシエ

イ) 助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」

助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」は「ワ」「エ」「オ」と表記する。

こんにちは → コンニチワ

いずこへ → イズコエ

字を書く → ジ△オ△カク

ウ) 「ヂ」「ヅ」

2語の連合又は同音の連呼によって生じた「ヂ」「ヅ」は「ジ」「ズ」と表記する。

ちかぢか → チカジカ

磯づり → イソズリ

かなづかい → カナズカイ

ちぢむ → チジム

つづり方 → ツズリカタ

宝塚 → タカラズカ

エ) 拗音、促音

拗音を表す「ヤ」「ユ」「ヨ」は、「ャ」「ュ」「ョ」と小字で表記し、促音を表す「ツ」は、「ッ」と小字で表記する。

著者 → チョシヤ

雑誌 → ザッシ

オ) 長音

(1) ア列の長音は、「ア」と表記する。

母さん → カアサン

(2) イ列の長音は、「イ」と表記する。

兄さん → ニイサン

(3) ウ列の長音は、「ウ」と表記する。

有数 → ユウスウ

(4) エ列の長音は、「エ」と表記する。

姉さん → ネエサン

(5) オ列の長音は、「ウ」と表記する。ただし、現代かなづかいで「お」と書き表される長音は、「オ」と表記する。

労働法 → ロウドウホウ

父さん → トウサン

大阪 → オオサカ

氷 → コオリ

十日 → トオカ

遠目 → トオメ

カ) 拗長音

(1) ア列拗音の長音は、「ャ」のつぎに「ア」と表記する。

じゃあね → ジャアネ

(2) ウ列拗音の長音は、「ユ」のつぎに「ウ」と表記する。

乳牛 → ニュウギユウ

(3) オ列拗音の長音は、「ヨ」のつぎに「ウ」と表記する。

表彰 → ヒョウショウ

2. 外来語

組となる正規フィールドが外来語（片仮名で表示されている外国人名、団体名、地名、外国語を含む）で表示されているか、その一部に外来語を含むときは、原則として第 1 表に従って、表示されているとおりに表記する。第 1 表にない文字で第 2 表にある文字は第 2 表に従う。

ただし、第 1 表、第 2 表にない文字については第 1 表に含まれる文字に置換える。

ア) 第 1 表に従って表記するもの

バレエ → バレエ

バレー → バレー

シェイクスピア全集 → シェイクスピア△ゼンシュウ

シェークスピヤ全集 → シェークスピヤ△ゼンシュウ

シェクスピア物語 → シェクスピア△モノガタリ

キエルケゴール → キエルケゴール

クオータリー → クオータリー

グョエテ → グョエテ

イ) 第2表に従って表記するもの

第1表にない文字は、第2表に従って表記する。

キタ・セクスアリス → イタ△セクスアリス
ワ`ルレンシュタイン → ヴァルレンシュタイン
エ`ニス → ヴェニス
ビルヂング → ビルジング

ウ) 第1表、第2表にないもの

第1表になく、第2表にも指定の無い文字は、第1表に含まれる文字に置き換える。

カ° → カ

エ) 漢字で表示されている外来語

漢字で表示されている外来語、外国人名、地名等は、その発音に従い、第1表によって表記する。この場合、長音、拗長音は長音符（ー）で表記する。

那波烈翁ト那把盧的 → ナポレオン△ボナパルト
倫敦 → ロンドン
伯林 → ベルリン
珈琲 → コーヒー
紐育 → ニューヨーク

3. ラテン文字等

ア) ラテン文字

組となる正規フィールドがラテン文字（拡張ラテン文字を含む。以下同じ）のみで表示されているときは、880フィールドへの収録を省略することがある。

正規フィールドの一部にラテン文字を含むときは、そのままラテン文字で表記する。ただし、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

M&A → M△&△A
The 万年筆 → The△マンネンヒツ
pH の理論と測定 → pH△ノ△リロン△ト△ソクテイ
日本 BSCS 委員会 → ニホン△BSCS△イインカイ
D.H.ロレンスの文学 → D.△H.△ロレンス△ノ△ブンガク
MS-DOS プログラミング → MS-DOS△プログラミング
Pattern△making の研究 → Pattern△making△ノ△ケンキュウ
Café 吉祥寺で → Café△キチジョウジ△デ

イ) キリール文字・ギリシア文字

組となる正規フィールドがキリール文字・ギリシア文字のみで表記されているか、又は

正規フィールドの一部にキリール文字・ギリシア文字を含むときは、第 3 表に従ってラテン文字に翻字する。

Преступление△и△наказание

→ Prestuplenie△i△nakazanie

ε π ι σ τ η μ η のオブジェクト指向的日常

→ Episteme△ノ△オブジェクト△シコウテキ△ニチジョウ

著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときは、ルビによる読みに従って表記する。

β 遮断剤とは → ベータ△シャダンザイ△トワ

4. 数字

ア) 漢数字

(1) 漢字形が漢数字で表示されているか、その一部に漢数字を含むときは、原則として次のとおり表記する。

一 → イチ 二 → ニ 三 → サン 四 → シ 五 → ゴ

六 → ロク 七 → シチ 八 → ハチ 九 → ク 十 → ジュウ

零 → レイ

注：「十」が他の語と結びついて促音となるときは、「ジッ」と表記する。

十進法 → ジッシンホウ

十戒 → ジッカイ

(2) 漢数字が成語又は固有名詞の一部に含まれていて、慣用の読み方が確立しているときは、典拠とする参考資料に従って表記する。

四次元 → ヨジゲン

六義園 → リクギエン

七転八起 → ナナコロビ△ヤオキ

九尾の狐 → キュウビ△ノ△キツネ

(3) 漢数字が数量、及び序数を示すときはアラビア数字で表記することがある。

五十周年記念誌 → 50 シュウネン△キネンシ

二十世紀の千人 → 20 セイキ△ノ△1000 ニン

イ) アラビア数字

組となる正規フィールドの一部にアラビア数字を含むときは、原則としてそのままアラビア数字で表記する。又、アラビア数字のままの表記で不自然なものは片仮名で表記し、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

8mm 映画ハンドブック → 8mm△エイガ△ハンドブック

20 年の歩み → 20 ネン△ノ△アユミ

4 次元 → 4 ジゲン

10回 → 10カイ

1995.1.17を証言する → 1995.△1.△17△オ△ショウゲンスル

1/10万 → ジュウマンブンノイチ

2日制 → フツカセイ

ウ) ローマ数字

組となる正規フィールドの一部にローマ数字を含むときは、原則としてアラビア数字に置換えて表記する。又、アラビア数字の表記で不自然なものは片仮名で表記し、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

ラムセスⅡ世 → ラムセス△2セイ

WWⅡ → WW2

5. 記号

組となる正規フィールドに記号を含み、かつ、その記号を省略するとその名称自体が損なわれる場合は、原則としてそのまま表記する。又、記号のままの表記で不自然なものは片仮名で表記し、著者・出版者の意図による読みとしてルビがあるときはルビによる読みに従って表記する。

学生のための一太郎@△Windows△95

→ ガクセイ△ノ△タメノ△イチタロウ△@△Windows△95

Lotus△1-2-3△@△Windows△95 → Lotus△1-2-3△@△Windows△95

?と!の話 → ハテナ△ト△ビックリ△ノ△ハナシ

?山宏 → ナヅヤマ△ヒロシ

付・第1表 (昭和21年内閣告示第33号による)

ア	イ	ウ	エ	オ				
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)				
カ	キ	ク	ケ	コ		キヤ	キュ	キョ
サ	シ	ス	セ	ソ		シヤ	シュ	シヨ
タ	チ	ツ	テ	ト		チャ	チュ	チヨ
		(ツ)						
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ		ニヤ	ニユ	ニヨ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ		ヒヤ	ヒユ	ヒヨ
マ	ミ	ム	メ	モ		ミヤ	ミユ	ミヨ
ヤ		ユ		ヨ				
(ヤ)		(ユ)		(ヨ)				
ラ	リ	ル	レ	ロ		リヤ	リュ	リヨ

ワ				ヲ*				
ン								
		(ヴ)						
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ		ギヤ	ギユ	ギョ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ		ジャ	ジュ	ジョ
ダ	ヂ*	ヅ*	デ	ド		ヂャ*	ヂュ*	ヂョ*
バ	ビ	ブ	ベ	ボ		ビヤ	ビユ	ビョ
パ	ピ	プ	ペ	ポ		ピヤ	ピユ	ピョ

*は『JAPAN/MARC』では使用しない。()は当館追加分。

付・第2表

	正規フィールド	880 フィールドの片仮名読み表記
和語の表記	ゐ	イ
	ゑ	エ
	を	オ
	ぢ	ジ
	づ	ズ
和語（助詞の場合）の表記	は	ワ
	へ	エ
外来語の表記	キ	イ
	エ	エ
	ヲ	オ
	ヂ	ジ
	ヅ	ズ
	ワ ^ゝ	ヴァ
	キ ^ゝ	ヴィ
	エ ^ゝ	ヴェ
	ヲ ^ゝ	ヴォ

付・第3表

キリール文字		翻字形	
A	a	A	a
B	б	B	b
B	B	V	v

Г	г	G	g
Д	д	D	d
Е	е	E	e
Ё	ё	E	e
Ж	ж	ZH	zh
З	з	Z	z
И	и	I	i
Й	й	I	i
К	к	K	k
Л	л	L	l
М	м	M	m
Н	н	N	n
О	о	O	o
П	п	P	p
Р	р	R	r
С	с	S	s
Т	т	T	t
У	у	U	u
Ф	ф	F	f
Х	х	KH	kh
Ц	ц	TS	ts
Ч	ч	CH	ch
Ш	ш	SH	sh
Щ	щ	SHCH	shch
Ъ	ъ	”	
Ы	ы	Y	y
Ь	ь	’	
Э	э	E	e
Ю	ю	IU	iu
Я	я	IA	ia

ギリシア文字		翻字形	
A	α	A	a
B	β	B	b
Γ	γ	G (※1)	g
Δ	δ	D	d
E	ε	E	e
Z	ζ	Z	z
H	η	E	e
Θ	θ	TH	th
I	ι	I	i
K	κ	K	k
Λ	λ	L	l
M	μ	M	m
N	ν	N	n
Ξ	ξ	X	x
O	ο	O	o
Π	π	P	p
P	ρ	R	r
P	ρ	RH	rh
Σ	σ	S	s
T	τ	T	t
Υ	υ	Y	y
Φ	φ	PH	ph
X	χ	CH	ch
Ψ	ψ	PS	ps
Ω	ω	O	o

(※1) γ、κ、χの前ではGではなくNと表記する。

(収集・書誌調整課)